

e-Liveで良かった点は講師の先生が静岡県出身だったこと。早うちから自ら学ぶという姿勢を身に付かせてくれたこと。

浜松北高校合格 浜松市立浜北北部中学校卒 K

お母さん

無事に浜松北高校に合格でき、e-Liveの先生方、そして講師の先生に感謝しております。

中学3年になり、高校見学や学校祭等に行くと何なり、何度か行くうちに自分の行きたい高校が決まってきた。

そして、その思いもだんだんと強くなってきた。

夏休みにはe-Liveでの面談があり、それや、長時間、熱心に夏休みの過ごし方の計画等々、お話しいただき、本人のやる気を引き出した。お話しいただき、夏休み中はタイムスケジュール通り、本人も頑張ることができ、休み明けの学調ではまずまずの成績でした。

しかし、2学期、その気持ちや途切れ、12月の学調では前回をかなり下回る成績となっていました。

そのため、第1志望を浜松北高、第2志望を浜松市立としていたものの、学校での三者面談で、学校の先生からは強く市立高校を勧められました。

か、市立に行くくらいなら、北高に落ちて私立の聖隷に行きたいという思いが強く、本人が首を縦にふることはなく、北高を受験することにしました。

私立には、スカラシップ生として合格していただくこともあり、少し気持ちに余裕を持って受験できたのではないかと思います。

e-Liveで良かった点は、講師の先生が静岡県出身だったこと。静岡の高校受験を数年前に実際に経験しているのが、良いアドバイスをしていただけだと思います。

それから、夏・冬の特別で、e-Liveは、一般の塾で行っているような夏季講習、冬季講習ではなく、自ら問題を持参して勉強を、解らないところを教えてもらうというシステムです。

本人のやる気次第なのです。勉強をやらせているのではなく、自らやる。

受身の学習ではないのです。

高校、大学とあがっていくと、受身ではない。早いうちから自ら学ぶという姿勢を身に付けてさせていただけなのではないかと思えます。

そして、担任のカイさん、最後まで娘を信じて下さり、ありがたうございました。

高校受験を体験し、一番大切なことは、必ずこの高校に行くんだ!! という気持ちを持つことだと思えました。

この気持ちがあれば、受験勉強は長続きしません。

そして、その気持ちを芽生えさせるためには、高校見学に積極的に参加し、自分の行きたい高校を早く定めることだと思えました。